

踏み跡 <My Mountains>

吾妻／磐梯	浄土平から東吾妻山と八方台から会津磐梯山	No.302
-------	----------------------	--------

夏休みシーズンに入ると混雑するので、少し早めに夫婦で夏の山旅。行き先は磐梯朝日国立公園の中核になる会津磐梯山と東吾妻山。間でどこかの温泉に一泊しようというアイデア。三カ月ぶりの山歩きは楽しみだ。

平成12年7月14日

起床4時半、天気は晴。朝食抜きで5時半に出発、国道16号線経由で岩槻ICから東北自動車道へ。佐野SAで朝食と大休止。さしたる混雑もなく順調に進み、二本松ICで下りて岳温泉へ。土湯峠を越えて磐梯吾妻スカイラインへ向かいながら今夜の宿探し。新野地温泉の相模屋を予約してスカイラインへ。浄土平11時30分。快晴の空の下に広がる素晴らしい大パノラマを楽しみながら昼食。

昼食の後、本日のターゲットの東吾妻山を目指して出発。浄土平を抜けるとゆるやかな登りになる。振り返るといつでも吾妻小富士が後に見える。足元のイワカガミを見ながら30分ほど登ると酸ケ平。白やピンクのシャクナゲが咲き乱れている。傾斜の緩い酸ケ平を通り抜けると鎌沼。沼の周りには満開のコバイケイソウとモジャモジャのチングルマ。鎌沼から南へ進み姥ヶ原を抜けると徐々に登りになり、火山ガスにやられたような針葉樹の間を歩くようになる。やがて眺望がきくようになると程なく東吾妻山(1974.7m)に到着。(右下写真)

磐梯山方面はガスで見えないが、目の前に吾妻山とその向こうに東大願から西吾妻への稜線が大きく広がって見える。下を見ると鎌沼が本当に鎌のような形をしているのがわかる。往路ではゆっくり見なかったの、下った後で浄土平湿原をゆっくり回って見た。



浄土平に下りたが、まだ時間があるので、目の前の吾妻小富士にも登って見ることにした。岩礫の斜面を登って頂上の稜線に到達し、すり鉢の底のような窪みを眺めていると、福島方面の上空で雷鳴と稲妻。そして一時置いて頭上を冷たい風が吹き始めた。これはまずい、雷にやられるかもしれない。

お鉢回りはやめて大急ぎで下ることにしたが、すぐに大粒の雨が落ち始めてきた。(右写真：吾妻小富士頂上稜線・この数分後雷鳴)



早足で下り浄土平に着いた時にはもう雷雨のど真ん中になってしまった。車の中に避難して濡れたシャツを着替えて下山開始。

新野地温泉17時15分、今朝予約しておいた相模屋に入り、本日の行程は終了。

平成12年7月15日

起床後すぐに幕川温泉付近まで露を採りに出かけることにした。この山菜スポットは昨日目を付けておいた。宿に戻って野天風呂で朝風呂に入って、それから朝食。

8時半に宿を出発。まずは土湯峠の湿原散策。そしてその次に幕川温泉の手前で再び露採り。土産を十分に確保した後、今日のターゲット会津磐梯山を目指して猫魔八方台に向かって移動。



踏み跡 <My Mountains>

八方台着 11 時、(海拔 1,194m) 身支度を整えて 11 時 35 分に出発。

中の湯 12 時 05 分。(海拔 1,350m 位か) ここで昼食をと思っていたが、宿は営業していないし、まだ腹も減っていないので先へ進むことにした。

中の湯を過ぎると高山らしい登りになってきた。高度を上げるにつれて空模様は怪しくなり、やがて雨が降り始めてきた。弘法清水の直下(海拔 1,600m 位か)あたりまで来たら本格的な雨になってしまった。



雨と言っても寒さを感じない静かな雨の降り方なので、そのまま登山を続行することにした。雨の為昼食できる場所もないので、弘法清水で水を一杯飲んだだけで頂上へ。

会津磐梯山(1,818.6m)、雨で遠望は得られないが足元の視界は何も問題はない。濡れてしまうのも癪なので、頂上を踏んだだけですぐに下山することにした。

弘法清水で再び水を一杯飲んで、雨が降っていない地点まで下ってから昼食。とは言っても雨で濡れた地面に腰を下すのも不快なので、立ったままで昼食。

立ち止ったのは食べている間だけで、八方台まで一気に下ってしまった。

八方台で濡れた物を着替えて帰路に着いたが、途中で慾を出して再び露採り。

磐梯山ゴールドラインを下って磐梯町へ、猪苗代町を通過郡山 IC から東北自動車道に入り、自宅着は 20 時 45 分だった。

以上